



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第431号

2019年11月18日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

来年度予算編成は、市民の願いに応えるものに

12月議会が11月26日から始まります。今議会では災害対策について各議員から質問が相次ぐことが予想されます。日本共産党も今議会では、災害対策、防災・減災の観点から幅広く質問を行うため、4名全員で分野を分けて質問を行う準備をしています。

同時に、9月の決算委員会が終了し3月の予算議会に向けて「来年度の予算編成方針」にも目を向け、しっかりと市の姿勢を問わなくてはなりません。

日本共産党市議団は、地方自治法の第1条の2にある「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」を土台として、質問を行っていきます。



大型建設などが市財政硬直化の要因と認める

今年9月27日付で八千代市の財務部長から、各部局長・教育次長・消防長あてに来年度予算編成の方針が出されています。そのなかで、市財政の現状と課題では9月議会でも取り上げられていた「財政力指数は高いが、財政の硬直化が過去20年間で最も高い数字となっている」ことがあげられています。

要するに、「自力でやりくりする財政力はあるが、過去の大型建設事業の借金や高齢化に伴う扶助費の増、さらに民間委託の増加などで、絶対に払わないといけない額が多すぎて、余裕のない財政状況」となっていると説明されています。

しかし、今になって過去の大型建設の借金を持ち出し、公的責任を放り出して民間委託を進めてきたことで、余裕のない財政力になってしまったのは市の責任ではないでしょうか。

財源不足を嘆きながら、市庁舎建て替えを促進

市は「有事の際における財源不足を懸念」とも書いています。これは、先日の台風や豪雨などが八千代市を襲った場合など、災害時における市民への支援を行うための財源がないともいっているのと同じです。

これから、災害に強いまちづくりを進めていくお金もないのでしょうか？市の予算方針には書かれていませんが、この4年間で市は、市庁舎建設のために毎年5億円計20億円を積み立てています。過去の大型建設による財政の硬直化と言っておきながらまだ、建て替えありきで、さらに10億円の積み立てを続けるつもりでいます。

毎年5億円あれば市民のみなさんのために、災害に備えた対策や公共施設の改修工事、道路整備などにどれだけ予算がまわせるでしょうか。

反省しておきながら反省した基本方針になっていない。日本共産党は、そのことをしっかりと指摘し12月議会に臨みます。